

短報

## 岡山市におけるキビノダンゴゴケ(ダンゴゴケ目タイ類)の新産地

西村直樹<sup>1</sup>・藤田あゆな<sup>2</sup>

New localities of *Sphaerocarpos donnellii* (*Sphaerocarpales*, *Hepatics*) in Okayama City

Naoki NISHIMURA<sup>1</sup> and Ayuna FUJITA<sup>2</sup>

**Abstract:** Several new localities of *Sphaerocarpos donnellii* Austin are found through research works investigated in 2013 at Okayama City. A map showing the present habitats is provided.

### 1. はじめに

キビノダンゴゴケ(*Sphaerocarpos donnellii* Austin)は、ダンゴゴケ目のタイ類である。北米から知られていた種であるが、2009年11月末に岡山市南区福浜の市街地に隣接する水田で、日本でも初めて発見され、その後、2012年3月までに、岡山市の東区西大寺、中区倉田、倉益、倉敷市の玉島など、主に岡山市南部を東西に走る2号線バイパス沿いで生育が確認されている(西村ほか 2012, 図6)。現在まだ日本では岡山県のみから知られている種である。稲刈りの後1か月ほどした水田の湿った粘土質土上に、1-2 cmの丸い塊りとなって生育する(図1, 2)という特異な生態と形態を持つため、比較的容易に見つけることができる種である。

岡山市では、2012年3月以後も、キビノダンゴゴケの生育地が新たに見出され、著者の一人、西村は岡山市中区原尾島に、また、西平直美氏は岡山市北区首部と西花尻にも生育することを確認している(私信による)。このため、キビノダンゴゴケ生育地は、当初見出された岡山市南部の2号線バイパス沿いよりもさらに北に広がっていることが予想された。

2013年11月に、キビノダンゴゴケの生育地を明ら



図1. キビノダンゴゴケの生育地(岡山市北区首部, 2013年11月16日撮影)。



図2. 上端に穴があいた多くの包膜が並ぶキビノダンゴゴケの雌株(岡山市北区首部, 2013年11月16日撮影)。

1. 〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1 岡山理科大学自然植物園. Botanical Garden, Okayama University of Science, 1-1, Ridai-cho, Kita-ku, Okayama-shi, Okayama-ken 700-0005, Japan.
2. 〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1 岡山理科大学大学院総合情報研究科生物地球システム専攻. Biosphere-Geosphere System Science, Graduate School of Informatics, Okayama University of Science, 1-1, Ridai-cho, Kita-ku, Okayama-shi, Okayama-ken 700-0005, Japan.



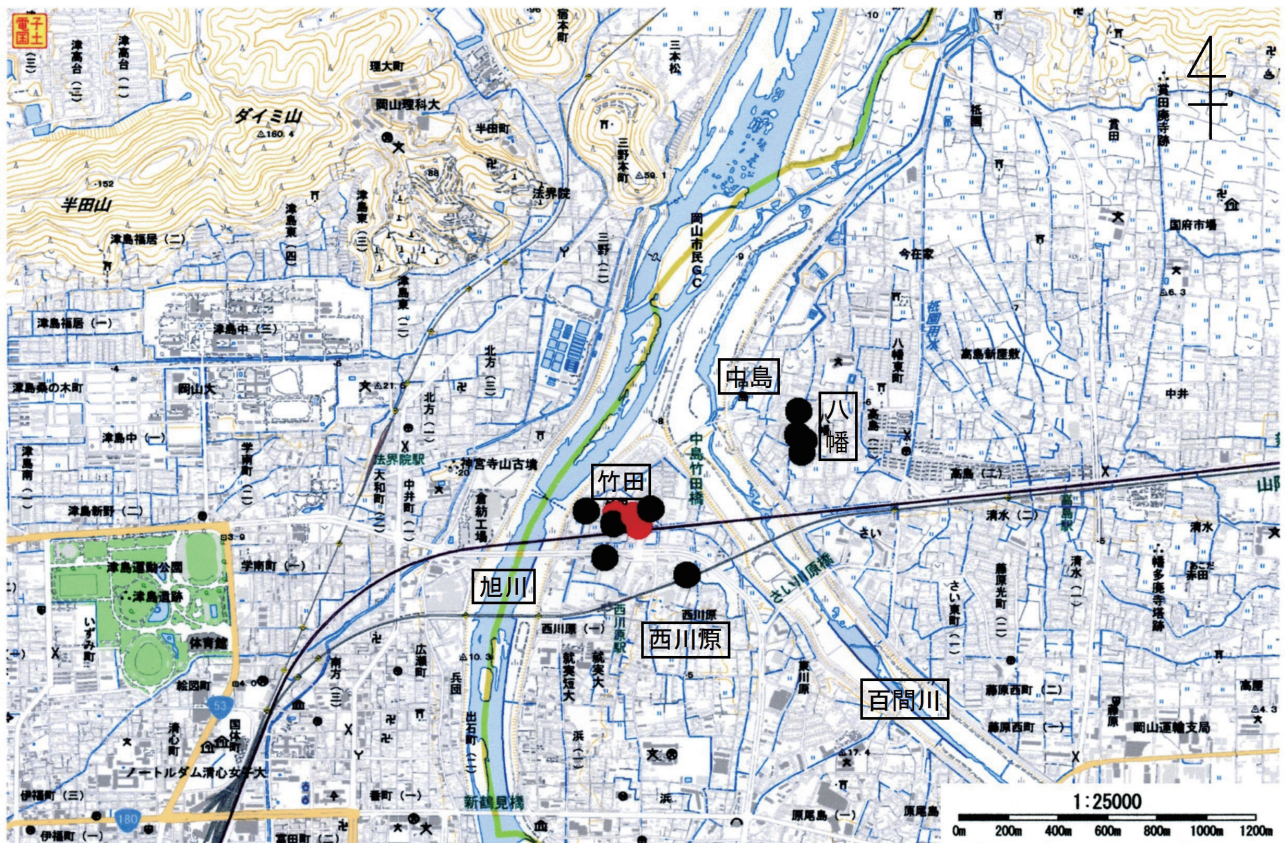


図3. 岡山市中区竹田地域の調査地点とキビノダンゴゴケ生育地(赤丸)。黒丸は生育を確認できなかった場所を示す。

かにすることを目的とした調査を岡山市中区と北区で実施した。この調査は岡山理科大学生物地球学部生物地球学科2年生を対象とした野外調査法実習IIにおいて行われた。また、同年12月に、岡山コケの会有志が岡山市東区と中區で調査を行った。これらの結果、新たな生育場所を見出すとともに、生育地の再確認を行ったので報告する。

## 2. 調査地域と調査法

調査は、次の5地域で行った。

### 2-1 岡山市北区、中區の3地域

2013年11月16日、17日に、次の3班に分けて野外調査法実習IIを行った。

(1) 岡山市中区の西川原から竹田、中島から八幡(図3)。調査者(1班:岡野沙紀, 小西花歩, 小林香奈江, 吉村雅子)

(2) 岡山市北区、津島東から津島京町、首部(図4)。調査者(2班:三村 仙, 樋上広篤, 平谷和也,

森川智広, 横田典明)

(3) 岡山市北区の宿本町から玉柏, 中原から上ノ原, 中區の祇園から湯迫(図5)。調査者(3班:加藤大喜, 國弘和規, 小松裕太, 柴田康平, 高島硯真)

### 2-2 岡山市東区、中區の2地域

2013年12月1日に著者らを含む岡山コケの会有志9名により調査した。

(1) 岡山市東区の邑久郷から水門町(図6)

(2) 岡山市中区、原尾島(図6)

調査地域に見られる水田でキビノダンゴゴケの有無を記録し、調査場所の位置情報は、GPS(Garmin GPSmap 60CSx)を用いて記録した。生育が確認できた場合は、証拠試料を標本にした。すべての標本は岡山理科大学自然植物園標本庫に収めた。

## 3. 調査結果

2013年11月16日、17日に行った岡山市北区と中區



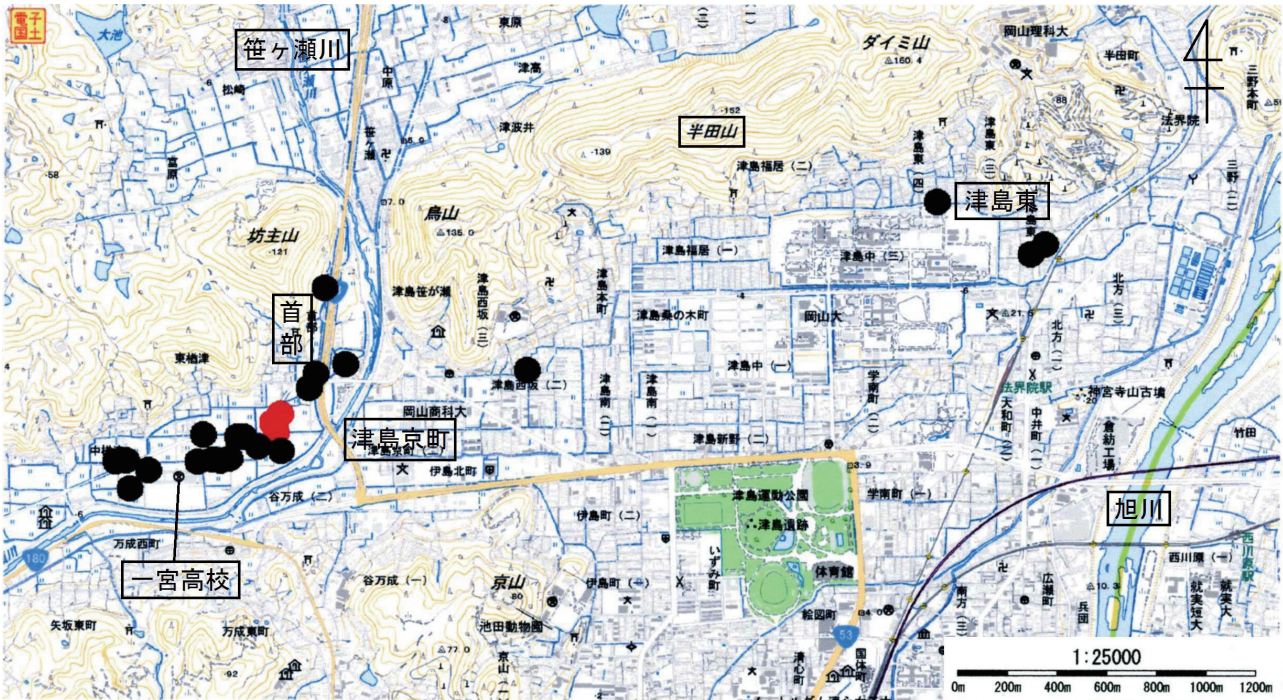


図4. 岡山市北区首部地域の調査地点とキビノダンゴゴケ生育地(赤丸). 黒丸は生育を確認できなかった場所を示す.

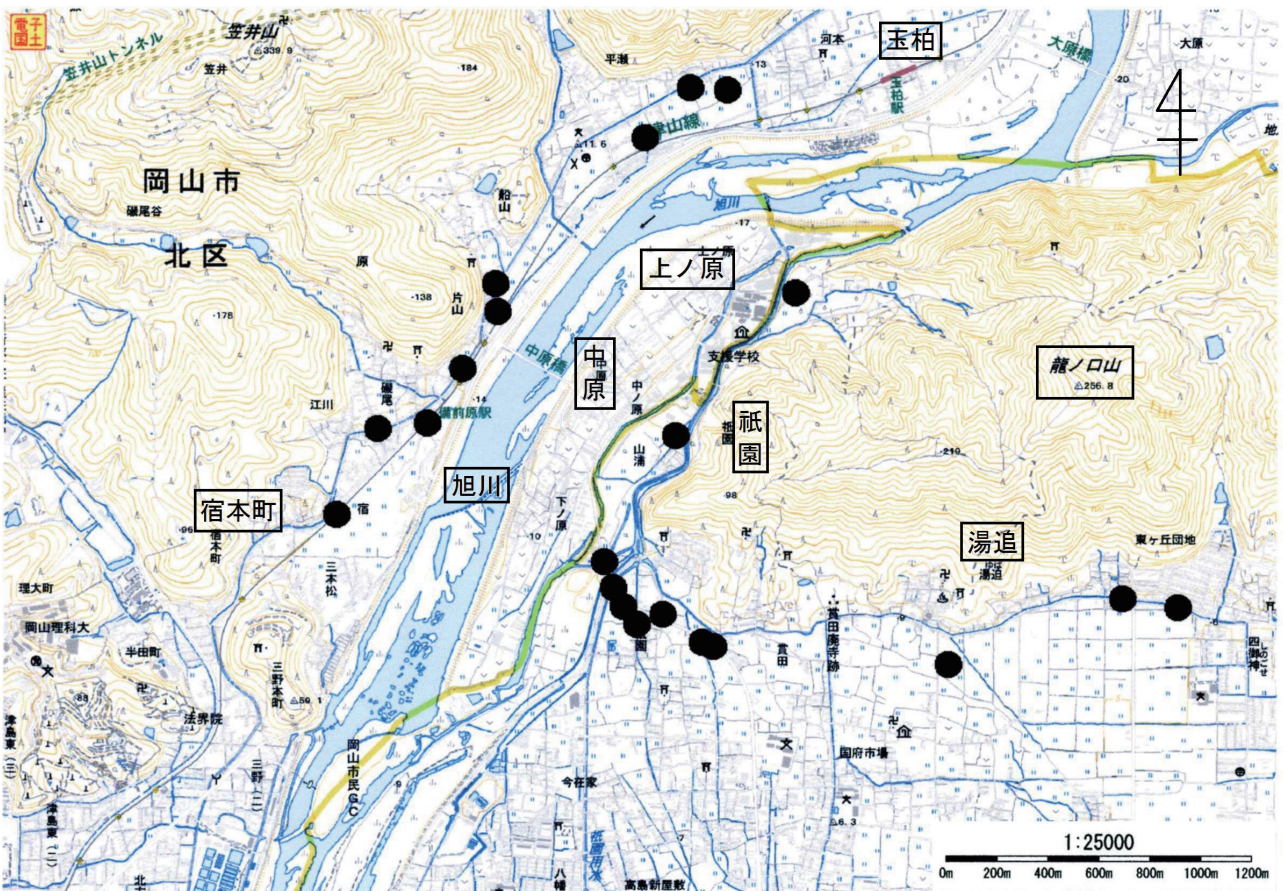


図5. 岡山市北区宿～玉柏と祇園～湯迫地域の調査地点(黒丸). キビノダンゴゴケの生育は確認できなかった.





図6. 岡山県南部におけるキビノダンゴゴケ生育地. 新たに追加された産地(赤星印)と既知の産地【赤丸, 西村ほか(2012)による. ただし倉敷市玉島の産地は除く】.

の3地域の調査では、岡山市中区竹田で、新たな生育地が見出された(図3). 岡山市北区首部では旺盛に生育しているのを再確認した(図4). しかし岡山市北区の宿本町から玉柏にかけての地域と、祇園から湯迫にかけての地域では生育を確認することができなかった(図5).

2013年12月1日の岡山市東区と中区の調査では、東区邑久郷や水門町の数カ所で、新たな生育地を確認した. また、岡山市中区原尾島で、非常に旺盛な生育をしているのを再確認した.

以上の結果、今までに知られていた2号線バイパス沿いよりも北の地域の3カ所と南の地域の2カ所において新たな生育地を追加することができた(図6).

Specimens examined selected: Okayama-ken, Okayama City: Kita-ku, Koube, 34.68319 N, 133.89572 E, 4 m alt.,

on moist clay in a rice-field, 16 Nov. 2013, T. Mimura et al.  
9. Naka-ku, Takeda, 34.68224 N, 133.93785 E, 7 m alt., on moist clay of ditch beside rice-field, 16 Nov. 2013, S. Okano et al. 1. Naka-ku, Haraojima, 34.66982 N, 133.955642 E, 5 m alt., on moist clay in a rice-field, 1 Dec. 2013, A. Fujita 1030. Higashi-ku, Okunogo, 34.62769 N, 134.066303 E, 3 m alt., on moist clay in a rice-field, 1 Dec. 2013, A. Fujita 1027. Higashi-ku, Suimon-cho, 34.61666 N, 134.065189 E, 3 m alt., on moist clay in a rice-field, 1 Dec. 2013, A. Fujita 1028. All specimens kept in OKAY.

#### 4. 考察

岡山市中区では、原尾島に加えて、2 km程北側になる竹田でも見つかったことにより、原尾島から竹田にいたる地域でキビノダンゴゴケが生育していることが明らかになった. また既知の生育場所である倉益や倉富は、原尾島から操山をはさんで、より

南側になる(図6)。したがって、今回の調査の結果、旭川と百間川に挟まれた一帯には、キビノダンゴゴケが広く分布している可能性がでてきた。今後、まだ生育が確認されていない竹田・原尾島と倉益・倉富の中間地帯及び倉益・倉富より南の地域の調査が望まれる。また、今回、百間川と龍ノ口山に挟まれた地域(図3, 5)では生育確認ができなかった。この一帯には生育していないのか、あるいは調査時期が悪かったのか、再調査により明らかにする必要がある。

岡山市北区首部付近での生育は、今までに西平直美氏によって確認されていたが、今回の調査で、首部集落の南、笹ヶ瀬川の西で、比較的広く生育しているのが改めて確認された(図4)。しかし、首部集落の東側及び一宮高校の周辺の水田では、見つけることができなかった。一宮高校の周りでは、11月16, 17日の調査時には、まだ稲刈りの最中であったため、調査時期が早すぎて、まだ植物体が形成されていない可能性がある。今後、1月や2月などの別時期に調査を行うことによって、どのように分布が広がっているかを確認していきたい。

笹ヶ瀬川の東側で、半田山の南のすそ野の一帯および、半田山の東側から旭川に沿って北の一帯で

は、今回はキビノダンゴゴケの生育を確認することはできなかった(図4)。

岡山市東区の生育地は、吉井川より東側であった(図6)。今までは、岡山ブルーラインの北側の、西大寺浜で生育が確認されていた。今回、見出された邑久郷と水門町は、岡山ブルーラインより南側の地域である。この付近一帯には、キビノダンゴゴケが比較的広く生育しているようである。今後、より東側の地域で、どのような分布的広がりを持っているのかを明らかにしたい。

## 5. 謝辞

野外調査法実習IIで本調査を行った岡山理科大学生物地球学部生物地球学科2年の皆さんに感謝します。また貴重な情報を提供してくださった西平直美氏(岡山市)および調査に協力して下さった岡山コケの会の皆さんに深謝します。

## 6. 引用文献

西村直樹・田村英子・嶋村正樹・古木達郎(2012). ダンゴゴケ属タイ類の1種が日本でも見つかる。蘚苔類研究 10: 245-249.

(2013年12月27日受理)